

平成24年度 国有林野事業業務研究発表会 発表課題一覧

【森林技術部門】

平成24年11月20日(火)開催

順番	発表開始時刻	管理局	森林管理署等	発表課題名	発表概要
1	10:05	近畿中国	兵庫森林管理署	低コスト造林への取組み ーセラミック苗植栽ー	育林経費の削減に着目して、セラミック苗による低コスト造林の検証に取り組む。スギ・ヒノキ・ケヤキのセラミック苗の試験地を設定し、活着率、根張り状況を把握し、基礎データによるセラミック苗の実用性を検証
2	10:25	九州	大分西部森林管理署	国有林におけるシカ被害対策の取組みについて	国有林における造林地へのシカ被害の拡大に伴い、対策として、森林管理署職員によるシカの捕獲技術と簡便な造林木の防護の取組を発表
3	10:45	北海道	胆振東部森林管理署	樽前山が噴火する日に備えて ～我が署のソフト対策の充実～	樽前山を管轄する当署では、噴火災害時に備えたソフト対策の整備に取り組んでおり、この取組みを通して見えてきた課題と結果について考察
4	11:15	関東	山梨森林管理事務所	治山事業における間伐材の有効利用について ～残存式型枠の部材開発における一考察～	間伐材の有効利用を図る観点から、コンクリート谷止工の背面型枠に、従来の鋼製型枠から間伐材を利用した型枠による工事を実施したので、その施工結果等を報告
5	11:35	東北	三陸中部森林管理署	Google Earthを利用した衛星画像表示に特化した簡易GISの開発	国有林の林班界、小班界、林道、等高線、森林調査簿をGoogle Earthに表示させ、空中写真を見ながら森林の状態を判読することができる簡易GISの開発について発表
6	11:55	四国	四万十森林管理署	工事箇所等における写真撮影の方法について	工事箇所における写真撮影の工夫として、魚釣りで使う「タモの柄を使う方法」、また、既存の「ケーブルクレーンを利用して、現地の状況や事業実行等の写真撮影を安全に低コストで実施した取組を発表
7	13:20	北海道	森林技術センター	土壌の保全に配慮した更新方法の検証 ～地表処理仕様の違いからみた森林育成～	土壌の保全に配慮した更新が求められているなか、環境への影響や、造林木の生育状況などについて、様々な地表処理の更新方法を検証する取組について報告
8	13:40	近畿中国	森林技術センター	列状間伐における林況変化把握と経営的評価	昭和48年植栽のヒノキ人工林を、平成11年に試験地として設定し、異なる間伐方法による林況の変化について、間伐後と、10年後を比較し、効率性と間伐効果の両立を図る間伐方法について考察
9	14:00	九州	森林技術センター	森林林業の再生に向けた低コスト造林の取組みについて	地拵・植付から下刈までの保育作業の低コスト化に向け、コンテナ苗造林技術とエリートツリーを活用した各作業段階での低コスト化への取組み経過等について発表
10	14:20	関東	山梨森林管理事務所	寛永年間に植栽された諏訪森アカマツ林を解析する ～「富士山」世界文化遺産の登録へ向けて～	寛永年間(1624～1644)の植栽記録がある諏訪森アカマツ林(山梨県富士吉田市)においてアカマツの長伐期施業方法を体系化するために毎木調査、植生調査、樹幹解析を実施した。これらの結果からアカマツの長伐期施業を考察
11	15:00	中部	木曽森林管理署	モデル林における「低コスト・高効率作業システム」～5ヶ年の変遷～	これまで架線集材が主であった木曾谷において、「低コスト・高効率作業システム」を普及を目指すモデル林を設定し、5ヶ年の経過と検証結果を報告
12	15:20	四国	森林技術センター	「囲いわな」によるシカ捕獲試験について	近年、シカによる森林被害が全国的に増加傾向にあり、四国局でも、新植地等の食害が多発。このことから、センターで小型の「囲いわな」を低コストで製作し、シカ捕獲、シカの生態状況調査等の取組み状況等を報告
13	15:40	中部	木曽森林管理署	間伐等における末木枝条の有効利用	末木枝条の有効利用を考え、廃棄物処理としての支出から木材資源利用としての収入へ転換させた取組を報告

【国民の森林部門】

順番	発表開始時刻	管理局	森林管理署等	発表課題名	発表概要
1	9:45	北海道	石狩森林管理署 積丹町 札幌水源林整備事務所	積丹町と歩む新たな森づくり ～北海道初の共同施業団地～	積丹町と国有林において共同施業団地を設定する協定を締結し、森林施業の効率化・低コスト化を目指した民・国連携の森林整備の取組みについて報告
2	10:05	東北	岩手北部森林管理署	民・国連携によるコンテナ苗の実証試験と普及	多雪寒冷地でのコンテナ苗植栽実証試験を行い、種苗生産者・県技術センター等と成果を検証し、問題点の克服と低コスト育林技術の普及を目指す取組みの報告
3	10:25	関東	静岡森林管理署	富士山国有林における未利用材の活用について ～ウラジロモミシステム販売等の一考察～	販売不可能とされていた「ウラジロモミ」をシステム販売及び市場委託により販売を行った。その取組の報告と考察結果を報告
4	10:45	中部	木曾森林管理署 南木曾支署 公益社団法人 全国社寺等屋根工事 技術保存会	「檜皮の森」での活動を振りかえって	賤母(しずも)国有林を「檜皮の森」として設定し、檜皮の持続的供給と原皮師の育成フィールドの提供を通じ、森林環境教育をはじめ、この間の活動についての報告
5	11:15	近畿中国	京都大阪 森林管理事務所	嵐山国有林における地元・専門家・行政との連携について ～「嵐山国有林の取扱いに関する意見交換会」を中心として～	嵐山国有林の森林景観保全に必要な取組方針策定のため、地元・専門家・行政を結集し、関係者との意思統一を図り行った取組を報告
6	11:35	四国	香川森林管理事務所	屋島国有林における落石防止対策の検討と整備 ～優先順位判定と実施状況について～	源平合戦の古戦場として有名な屋島国有林において、山頂へ繋がる道路を通行する車両等の安全確保を図るために策定した効果的な落石防止対策整備計画に基づく施工の取組を発表
7	11:55	九州	西表森林環境保全 ふれあいセンター 琉球大学 熱帯生物圏研究センター	船浦ニツパヤシ群落を取り巻く環境の推移	沖縄県西表島の船浦ニツパヤシ群落は、2003年度、有識者による調査検討委員会における検討を踏まえ群落の維持及び樹勢回復措置の一環として周辺上層木の除伐を実施した。以降のニツパヤシの生育状況及び周辺環境の変化等について、これまでの経過について発表

【森林ふれあい部門】

順番	発表開始時刻	管理局	森林管理署等	発表課題名	発表概要
1	13:30	九州	西表森林環境保全 ふれあいセンター	西表島における自然環境教育の取組みについて	「西表島での自然環境教育カリキュラム」の改訂版を作成し、小中学校及び関係機関へ配付するなど、自然環境教育の体制が図られたことから、これまでの取組み経過等について発表
2	13:50	四国	安芸森林管理署 佐喜浜の源木を 育てる会	段ノ谷山国有林を活用した地域活性化について	高知県東部(室戸市佐喜浜)において、地域の「佐喜浜の源木を育てる会」とともに、国有林(山の宝)等を活用した森林環境教育の取組と地域活性化について発表
3	14:10	中部	愛知森林管理事務所	「ふれあいの森」より広がる地域との絆 ～段戸国有林 漁民の森林づくり活動～	協定締結による国民参加の森づくりを活用し、森林との関わりが薄い漁業関係者による森づくりが10年に渡り行われている。この間の経緯と、継続的な活動について必要なことは何かの考察を報告
4	14:30	近畿中国	福井森林管理署 夜叉ヶ池 パトロール員の会	夜叉ヶ池の貴重な自然環境を守りぬく ～夜叉ヶ池パトロール10周年を迎えて～	国有林内にある福井県夜叉ヶ池の貴重な自然環境を守るため、平成13年度に地元有志を中心として「夜叉ヶ池パトロール員の会」が発足し、巡視活動が始まった。10周年を迎えて、これまでの活動を振り返り、今後の課題を検討
5	15:10	関東	上越森林管理署	モリアゲヨウ2011国際森林年！ ～様々な手法で国際森林年を効果的にPRしました～	国際森林年を様々な形でPRすることにより、そこから得られた「効果的なPR手法」や「新たな知見」について報告
6	15:30	東北	津軽白神森林環境保全 ふれあいセンター	白神山地周辺の自然再生を目指して ～ボランティアとともに未来の広葉樹の森林(もり)へ～	白神山地周辺地域の自然再生の方向性等を取りまとめ、小学生・一般ボランティアらとともに植樹活動等、中長期に渡るスギ人工林の混交林・広葉樹林化を目指した取組みを報告
7	15:50	北海道	常呂川森林環境保全 ふれあいセンター	人を育て、森林を生かす ～オホーツクの森自然再生モデル事業の取組み～	オホーツクの森において、当センター主催のイベントを通じ、地域住民自らの里山感覚で森林作業等を行いつつ、自然再生モデル事業と係わっている状況及び今後の方向性について考察